

不祥事ゼロプログラム

検証結果

1 検証結果 (A: 目標達成 B: ほぼ目標達成 C: さらに努力する必要あり)

2 検証内容

取組課題	目標	行動計画	検証結果
1 体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、真摯な態度で指導に当たる。	① 体罰や不適切指導に関する具体例を提示し、日ごろから生徒の人権に配慮した指導を心がける。	A
		② 「校内人権窓口」の生徒への周知を図り、担当を中心に生徒が相談できる態勢づくりを進める。	B
2 不適正経理処理の再発防止、私費会計の適正執行	公費・私費・現金管理に関するトラブルや事故不祥事を未然に防止する。	① 「私費会計基準」「私費会計事務処理の手引」についての理解を深め、公正な予算編成と適切な会計処理に努める。	A
		② 財務事務調査や私費会計執行状況を確認し、私費会計、部費会計の取扱を徹底する。	B
3 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止	法規範を遵守し、交通事故の発生を未然に防止する。	① 違反事例の解説等を実施し、交通事故防止の意識を高める。	A
		② 交通事故の防止、酒酔い運転等の犯罪性の高さを理解する。	A
4 セクハラ・わいせつ行為の発生を未然に防止	人権意識を高めセクハラ・わいせつ行為の発生を未然に防止する。	① パワハラ・セクハラ防止セルフチェックを実施し、意識啓発を行う。	A
		② パワハラ・セクハラ・わいせつ行為に関する新聞記事や啓発資料を活用し、人権に配慮した対応の徹底を図る。	A
5 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報を適切に取扱い、情報の流出を未然に防止する。	① 啓発資料やチェックシートを職員に配付して、意識啓発を図り、個人情報の流出を未然に防止する。	C
		② 個人情報を持ち出す際の「個人情報持ち出し許可願」による申請など、手続きの徹底を図る。USB の管理を徹底する。	A
6 公務外非行	常に公務員の自覚をもち、県民の信頼を損なう行為を防止する。	① 具体的事例を通して、日常的に意識啓発に努める。	A
		② 自己点検等を実施して、個々の職員のコンプライアンスへの意識を深める。	A
7 業務執行体制の検証	業務執行にあたり、事故を未然に防ぐため情報を共有し、相互チェックを行う。	① 外部講師により業務内容の情報を相互に共有し、協力しながら業務を執行する。担当者の個人的負担を軽減する。	A
		② 個人情報に係る業務は、マニュアルに沿った運用を行なうとともに、確認・点検を徹底して、事故・不祥事の防止に努める。	C
8 外部への適切な対応	外部との対応については適切に行う。	① 来校者への挨拶、迅速な電話対応と学校名、氏名を伝えるなどの丁寧な対応を行うよう努める。	A
		② 自己点検等を実施して、個々の職員のコンプライアンスへの意識を深める。	A
9 入学者選抜の事故防止	入学者選抜業務を適切に行う。	① 業務分担の整理と確認、マニュアル全体の確認、点検体制の確立を柱としての確かな業務を遂行する。	A

取組課題	目 標	検証の内容
1 体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、真摯な態度で指導に当たる。	体罰や不適切指導に関する具体例を提示し、日ごろから生徒の人権に配慮した指導を心がけた。 「教育相談」「校内人権窓口」の生徒への周知を図り、担当を中心に生徒が相談できる態勢づくりを進めた。また、円滑なコミュニケーションを図る職場づくりに努めた。
2 不適正経理処理の再発防止、私費会計の適正執行	公費・私費・現金管理に関するトラブルや事故不祥事を未然に防止する。	「私費会計基準」「私費会計事務処理の手引」についての理解を深め、公正な予算編成と適切な会計処理に努めた。 財務事務調査や私費会計執行状況を確認し、私費会計、部費会計の取扱を徹底した。財務事務調査での指摘事項や会計監査での指摘などを整理した。
3 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止	法規範を遵守し、交通事故の発生を未然に防止する。	違反事例の解説等を実施し、交通事故防止の意識を高めた。交通事故の防止、酒酔い運転等の犯罪性の高さを理解した。
4 セクハラ・わいせつ行為の発生を未然に防止	人権意識を高めセクハラ・わいせつ行為の発生を未然に防止する。	パワハラ・セクハラ防止セルフチェックを実施し、意識啓発を行った。 パワハラ・セクハラ・わいせつ行為に関する新聞記事や啓発資料を活用し、人権に配慮した対応の徹底を図った。
5 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報を適切に取扱い、情報の流出を未然に防止する。	啓発資料やチェックシートを職員に配付して、意識啓発を図り、個人情報の流出を未然に防止した。 個人情報を持ち出す際の「個人情報持ち出し許可願」による申請など、手続きの徹底を図った。USBの管理を徹底した。 個人情報等の管理について再発防止を徹底させる。
6 公務外非行	常に公務員の自覚をもち、県民の信頼を損なう行為を防止する。	具体的事例を通して、日常的に意識啓発に努めた。 自己点検等を実施して、個々の職員のコンプライアンスへの意識を深めた。教育公務員としての意識啓発に時間を設定した。
7 業務執行体制の検証	業務執行にあたり、事故を未然に防ぐため情報を共有し、相互チェックを行う。	業務内容の情報を相互に共有し、協力しながら業務を執行した。個人情報に係る業務は、マニュアルに沿った運用を行なうとともに、確認・点検を徹底して、事故・不祥事の防止に努めた。さらに外部講師に依頼して「チームとしての業務遂行」を柱に講演を行った。 管理職への「報告・連絡・相談」を十分に行い、再発防止を徹底させる。
8 外部への適切な対応	外部との対応については適切に行う。	来校者への挨拶、迅速な電話対応と学校名、氏名を伝えるなどの丁寧な対応を行うよう努めた。
9 入学者選抜の事故防止	入学者選抜業務を適切に行う。	業務分担の整理と確認、マニュアル全体の確認、点検体制の確立を柱としての確かな業務を遂行した。 適切かつ丁寧な業務の遂行であった。